





月・旬	10			11			12			1			2			3			4			5			6									
	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上											
生育	出芽期						有効分げつ期						無効分げつ期			莖立期			出穂期			登熟期			収穫期									
主な作業等	<ul style="list-style-type: none"> ● 排水対策 ● 土壌改良材の散布 ● 種子消毒 ● 播種前の除草剤 						<ul style="list-style-type: none"> ● 初期除草剤 ● 播種時期 						<ul style="list-style-type: none"> ○ 麦踏み 			<ul style="list-style-type: none"> ● 追肥① ○ 土入れ ○ 土入れ 			<ul style="list-style-type: none"> ● 中期除草剤 			<ul style="list-style-type: none"> ○ 麦踏み ○ 畦溝さらえ・排水口の整備 			<ul style="list-style-type: none"> ● 追肥② ○ 土入れ 			<ul style="list-style-type: none"> ● 赤かび病防除① ● 赤かび病防除② 			<ul style="list-style-type: none"> ● 収穫（はるか二条） ● 収穫（小麦） 			<ul style="list-style-type: none"> ● 収穫（小麦）
	<p>高品質麦生産のため、適期播種を心掛けましょう！</p>																																	
	 <p>排水対策を徹底しましょう！！ 稲刈後は、速やかに周囲溝を作る、弾丸暗きょを引く</p>						 <p>サブソイラ</p>						 <p>カラス/アントウ</p>			 <p>ネズミムギ</p>			 <p>カラスムギ</p>			 <p>コムギ黄斑病</p>			 <p>赤かび病の穂(左:大麦, 右:小麦)</p>									

赤かび病防除（2回）を行っていない麦は、共乾施設等での荷受けはできません。

栽培のポイント
排水対策・適期播種・酸度矯正・適正施肥・赤かび病防除（必ず2回）
適期収穫

1. 土壌改良資材（適正pH 6.0～6.5）

◆資材の銘柄と、土壌pHを1あげるのに必要な資材量（10a当たり）

資材名	施用量	備考
生石灰	100kg	アルカリ分90%でpHが上がりやすい。播種の10日前までに施用し、土とよく混和。
細粒苦土石灰	160kg	アルカリ分55%で、苦土を含む。
ミネラルG	200kg	アルカリ分40%で、ケイ酸や鉄分を含む。
オイスターミネラル	100kg	アルカリ分45%で、ケイ酸や苦土、鉄分等を含む。

2. 播種量および播種時期

（10a当たり）

品種名	播種適期	播種量	備考
はるか二条	11月10～30日	7～8kg	遅播の場合、播種量を2kg/10a程度増やす。
チクゴイズミ	※大麦と小麦両方を栽培する場合は、小麦から播種しましょう。	6～7kg	

※昨年タデ類が多かったほ場については、播種を早めて生育量の確保に努めましょう。

3. 種子消毒

対象病害虫	薬剤名	処理方法
斑葉病・網斑病 なまぐさ黒穂病 裸黒穂病	トリフミン水和剤	種子1kgに対し、薬剤5gを粉衣。
鳥害防止 斑葉病・網斑病(大麦) なまぐさ黒穂病(小麦) ヤギシロトビムシ(小麦)	キヒゲンR-2フロアブル	種子1kgに対し、薬剤20mlを塗抹処理。

※ヤギシロトビムシ対策(小麦):
クーラーFS30を種子1kgに対して薬剤6mlを塗抹処理し、10分間乾燥後、トリフミン水和剤を処理。

4. 施肥基準

（10a当たり）

品種名	基肥	追肥① 1月中・下旬	追肥② 2月下旬～3月上旬	穂揃い期追肥 4月中旬
はるか二条	ベスト化成444 40kg	ベスト化成444 30kg	硫安 10kg	
		追肥一発 麦追肥名人 30kg		
チクゴイズミ	ベスト化成444 40kg	ベスト化成444 30kg	硫安 10kg	硫安 10kg
		追肥一発 たんば君 30kg		

※1 大豆後の基肥は30kg/10a。
※2 穂揃い期追肥を葉面散布で行う場合、赤かび病防除と同時に行う。1回目は10a当たり尿素5kgを水100ℓに溶かして散布する。2回目も同様に行う。

5. 雑草防除基準

○播種前処理（10a当たり）

薬剤名	処理時期	使用量	希釈水量
ラウンドアップ マックスロード	耕起・播種前 又は 播種後出芽前 (雑草茎葉処理)	200～ 500ml	50～ 100ℓ

※注意事項>> 除草剤散布の際は、周囲の作物に飛散しないようにしましょう！

○播種後、生育中処理

（10a当たり）

薬剤名	処理時期	使用量	希釈水量	備考
リベレーターG	播種後～麦2葉期	4～5kg	—	雑草発生前～イネ科雑草1葉期まで
リベレーターフロアブル	播種後～麦3葉期	60～80ml ※大麦は70mlまで	100ℓ	雑草発生前～イネ科雑草1葉期まで
ハーモニーDF (イネ科・広葉)	麦1葉期～節間伸長前	5～10g	100ℓ	イネ科・広葉雑草に効果がある
バサグラン液剤	大麦: 収穫90日前まで 小麦: 収穫45日前まで	100～ 200ml	100ℓ	広葉雑草のみ効果 トケミクシネ/ホトンに 効果が高い
トレファノサイド 粒剤2.5	生育期 (雑草発生前)	4～5kg	—	カラスムギ、ネズミ ムギが前年多発した ほ場では、2回 散布すると効果が 高い
トレファノサイド 乳剤	ただし、収穫45日前まで	200～ 300ml	100ℓ	

※1 リベレーターフロアブルは、使用量が多いと大麦では薬害が発生する恐れがあるため注意する。
※2 ハーモニーDFは、野菜や豆類等に薬害を生じるので、ドリフトがないように注意。使用後のタンク及び散布器具は、添付の石灰溶かした液を10分間循環させた後、20分間放置し、排水後清水で洗浄する。

6. コムギ黄斑病・オオムギ網斑病防除

●防除適期: 3月中下旬(特に、昨年多発したほ場は必ず防除)（10a当たり）

薬剤名	適用病害名	使用量	希釈水量	備考
チルト乳剤25	コムギ黄斑病 オオムギ網斑病	1,000倍	60～150ℓ	小麦: 収穫3日前まで 大麦: 収穫21日前まで

7. 赤かび病防除


かび毒発生防止のため、必ず2回防除を行ってください。（10a当たり）

薬剤名	適用病害名	使用量	希釈水量	備考
ミラビスフロアブル	赤かび病 網斑病	2,000倍	60～150ℓ	大麦: 収穫14日前まで 小麦: 収穫7日前まで 使用は2回以内
ワークアップフロアブル	赤かび病 うどんこ病 黄斑病、網斑病			3kg
ワークアップ粉剤DL	赤かび病 うどんこ病 網斑病			

※赤かび病防除適期

小麦

1回目: 開花始め～開花期
(出穂7～10日後頃)

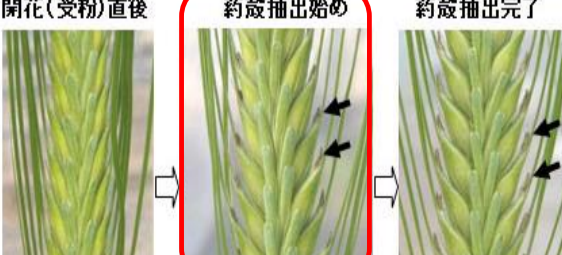


2回目: 1回目の7～10日後

大麦

1回目: 葯殻抽出期(出穂12～14日後頃)

開花(受粉)直後



葯殻抽出完了

2回目: 1回目の7～10日後